



自衛隊栃木地方協力本部

着任広報官に車両教育 まずは、車両教育「常に安全に」



新着任者（黒崎3曹）と
愛車の業務車2号



所長から車両教育を受ける。



はじめて車両に乗車

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長高井1尉）は、8月2日（金）、新着任広報官に対する車両教育に着手した。

教育の目的は、新着任広報官がこれから使用する官用車への「物品愛護」の精神を持たせるとともに、車両の性能を理解し、常に安全運転の心がけを持たせること。まずは、所長と車両係で、車両の性能についての説明を行った。その後、整備教育としてエンジンルームの点検、タイヤの点検等を予防整備の作業の手順で実施した。

新着任者は、大型トラックの運転の経験はあるが、業務車2号を運転するのは今回が初めて。所長を助手席にのせ、緊張した様子で事務所敷地内外の操縦教育を受け、「常に安全運転を心掛けたい」と語ってくれた。

大田原地域事務所は、「大田原地域事務所管内は、他の事務所に比べ9市町村と地域が広く、官用車が必須であり、移動距離も長い。常に安全運転を心がけて、車両を運転するとともに、常にきれいな状態で車両を維持し、ベストの状態で開催に邁進していく」としている。



操縦教育中（車庫入れ）



車両整備教育の様子

